

# 令和7年度 高速道路調査会 講演会(東京)プログラム

【日 時】 令和7年7月31日(木)

【開 演】 13時30分(開場 12時30分)

【会 場】 星陵会館ホール(〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-16-2)

## 【プログラム】

13:30～13:35 開催挨拶 公益財団法人高速道路調査会 理事長 長尾 哲

### 13:35～15:05 第1部

◆講 師 神奈川大学 情報学部 教授 山口 高平 氏  
(慶應義塾大学名誉教授、一般社団法人 人工知能学会元会長)

#### ◆演 題 高速道路業務を支援する AI システム

本講演では、推論 AI で処理可能な知識を分類して、知識ベース開発工程について考察し、推論 AI を活用した高速道路業務支援 AI システムとして、「高速道路 ETC 点検支援 AI スマートグラス」および「雪氷対策業務支援 AI システム」について説明する。また、Web 上で公開済みの数種類の道路保全点検マニュアルを生成 AI (GPT-4o) に与え、新入社員にとって分かり易い「高速道路業務支援マニュアル自動作成システム」の生成結果についても述べる。

15:05～15:20 休 憩

### 15:20～16:50 第2部

◆講 師 一般社団法人日本建設業連合会  
公共生産委員会 i-Construction 推進部会長 谷口 裕史 氏  
(株式会社 安藤・間 執行役員 技術研究所長)

#### ◆演 題 建設分野におけるAI活用の現況および活用事例

2020 年以降、AI を組み込んだ画像処理技術が進展してきたことで、建設工事において AI の活用が急速に増えてきている。i-Construction2.0 でも記されている「生産性の向上」を実現する必須技術といっても過言ではない。最近の利用状況を見てみると、施工管理や安全管理といった工事現場に直結した活用ばかりではなく、書類や議事録作成などのバックオフィス業務の効率化を狙った活用もみられる。本講演では、日本建設業連合会加盟各社における取組みを概観し、建設工事における AI の具体的な活用事例を紹介する。

#### ●CPD/CPDS の「受講証明書」を配布します【リアル開催限定】

会場受付にて、希望者にのみ配布

土木学会認定 CPD 認定プログラム(3.0 単位)/全国土木管理技士会連合会 CPDS 認定プログラム(101-1 2 ユニット・101-2 1 ユニット)

#### ●TOP/TOE-CPD 認定プログラム(受講証明書配布無し、各自申請)

一般社団法人交通工学研究会認定プログラム、項目 CO1.(1)として各自 CPD 単位数を申請できます。

#### <オンデマンド配信のご案内> ※CPD 認定プログラムの対象外です。

【配信期間】 令和7年8月8日～9月12日(予定)

- ・本講演会の内容について、アーカイブ動画配信を行います。
- ・配信期間初日に、メールにてオンデマンド配信についてご案内します。

